

序

厚生省心身障害研究班は、本年度より新たに3年計画で、9研究班をもって発足した。本研究班はその一部門を構成するものである。

本研究においては、小児期の種々の慢性疾患、事故等、わが国の小児の心身の健全な育成を阻害する要因の実態を調査し、その治療対策を確立することをめざすが、小児の慢性病態全体に共通する問題についても検討を加える予定である。研究課題及び分担研究者は以下に列記する通りである。

- 1) 不整脈の管理指針及び心術後の管理指針に関する研究
分担研究者 小佐野 満
- 2) 小児糖尿病における合併症早期診断基準の設定と合併症発症・促進因子の解析に関する研究
分担研究者 日比 逸郎
- 3) 小児慢性特定疾患における total care の役割とその具体的推進法
分担研究者 加藤 精彦
- 4) 小児の障害につながる傷病に関する研究
分担研究者 大国 真彦
- 5) 新生児外科的疾患に関する総合的研究
分担研究者 秋山 洋
- 6) 白血病児の生存の質に関する研究
分担研究者 植田 穰
- 7) 乳幼児突然死症候群 (SIDS) に関する研究
分担研究者 坂上 正道
- 8) 遺伝性疾患の発症予防に関する研究
分担研究者 松田 一郎

ここに、昭和61年度の研究業績をまとめ報告する。研究が多岐にわたるので、全体の総括は省略し、各研究課題の総括をそれぞれの分担研究者に委ねた。これらの研究業績が、慢性疾患患児の診断、治療、予防対策に有効に利用されることを期待したい。

昭和62年3月

小児期の主な健康障害要因に関する研究班
主任研究者 小佐野 満